



きみかめ便り

～千葉県立君津亀山少年自然の家 所報 7月号～



7月の自然

“梅雨”

梅雨に入りました。これから湿度が高く、ジメジメした日が続くと思うと少し憂鬱になります。ただ、梅雨がなかったら、日本の気候はどうなるのでしょうか？

植物や動物、また人間にとっても水は生きていくのに必要なものです。その水は雨水をためることで利用できます。梅雨の間に、関東地方では平均 288mm の降水量があるとされています。千葉県の年間降水量の平均は 1400mm なので、年間降水量の約 20% が梅雨の間に降ることになります。これがなくなったら、多くの地域で水不足となり、また農作物や植物の成長にも影響が出てくるのではないのでしょうか？ 私たちにとっての恵みの雨。雨の日をいやがるのではなく、雨の日ならではの楽しみ方を見つけていきたいですね。きみかめでは雨の日でも楽しめる活動を用意しています。おすすめは、「お天気について知ろう！」ペットボトルを使った「雲」を使う実験や雲のスライドショーを行います。詳しくは気兼ねなくご相談下さい。



所長 庄司 達哉

ある日のきみかめ ～利用団体レポート～

2014年 6月11～12日
木更津市立
真舟小学校様
(研修生 84名、引率 7名)



羽釜で炊くおむすび&豚汁づくり

研修内容

- 1日目： 仲間作り、おむすび&豚汁作り、キャンドルファイヤー
- 2日目： 屋久杉での箸作り、プラネタリウム

今年4月に設立されたばかりの「木更津市立真舟小学校」の5年生のみなさんが宿泊合宿に来てくれました。同校の設立準備から携わってこられた石渡勇斗教頭先生にいろいろお伺いしました。
(インタビュー&文：内田)



真舟小学校についてお聞かせいただけますか？

真舟小学校は木更津市で30年ぶりの新設校です。大規模な宅地開発等による人口増のため、請西小学校から500名、木更津第二小学校から100名ほか引越しや通学区域外からの児童が多数、真舟小に移ってきました。真舟小は「市民参画型」で地域とともに創り育んでいます。開校にあたって、学校名、校章、校歌とも「公募」で決めました。良い校歌ができ、子どもたち自身が親しみ、よく口ずさんでいます。入所式でも歌いました。



なぜきみかめを選ばれたのですか？

みんな町中の住宅街の子どもたちですので、自然体験は教育課程で組み込んで、体験時間を確保しました。真舟小は海に近いので、「山の自然を体験させたい」ときみかめを選びました。ヒルですか？自然の中にいるからこそその体験で、子どもたちにとってそれも貴重な経験だと思います。



プログラムはいかがでしたか？

「仲間づくりゲーム」では、新しい仲間同士の交流が生まれました。単純なゲームでしたが子どもたちがノッていました。担任はそれでいいんだ！と新たな発見があったようです。昔ながらの大きな羽釜で炊き上げのご飯は香ばしく、子どもたちも「いいにおいがする」「おいしいね！」と大喜びでした。あいにくの大雨で利用エンターテインメントは屋久杉の箸作り（指導：秋元木工）に替わりますが、それも楽しみです。たかが1泊2日、されど1泊2日。児童の成長にとっても貴重な時間で、今後の学校生活に期待しています。

- 対象 幼稚園～大人
- 人数 15～100名
- 料金 学校団体無料（職員の投影の場合）
- 時間 30～60分

(文山崎)

きみかめのプラネタリウムは直径14メートルの巨大なスクリーンで、約6500個もの星を映し出すことができます。その他、太陽、月、惑星なども映し出すことができます。「きれい」と子どもから大人までみんな手をたたいて大喜びです。「季節の星座」では、その日の夜実際に見える星を楽しむことができます。「学習プラネタ」では、月と太陽、自転のことが学べます。

きみかめのプラネタリウムは、今の時代珍しくなったマニュアル（手動）投影です。デジタルプラネタのようにボタン一つで投影が始まり終わると違って、スタッフが、予めお客様（対象）の個別のニーズを汲んで（幼児向けでやさしい内容で30分、小学校の学習要領を含めてとか）、投影する星や星座物語、その他プラネタの要素をアレンジします。当日もみなさんの息遣いを感じながら、語りかけたり、ペーソスを変えたり、アドリブでなにかを加えたり。きみかめのプラネタは会場と織りなす、まさに「ライブ」で、同じ星空を見ながら、共に感じ、生きているひと時です。

アクティビティ PICK UP!!

人気プログラム

『プラネタリウム』



今ではめずらしい

手動式のプラネタ投影機



いろいろお知らせ

☆緊急車両をお忘れなく

団体につき1~2台の緊急車両の確保をお勧めします。

「14歳未満の場合、小児科の医師がいる病院でないと救急車で搬送できない」ため、受入先確認に時間を要して救急車が直ぐに出発できないケースがあります。タクシーの夜の迎車は60分かかるともあります。遠方からの団体様は、レンタカーの利用が便利です。

☆松本ピアノの伴奏で校歌を歌いませんか

研修室に音色のすばらしい「松本ピアノ」があります。(君津市の文化遺産のひとつ。1963年君津市外箕輪で製造)入所式の校歌斉唱の際ぜひ活用ください。

☆H27年度予約 受付中です

県内団体様は2015年7月31日まで受付中です。
※県外団体様は3月31日まで受付中です。

☆七夕まつり

7月6日(日) 10:00-15:30 予約不要、入場無料
(出店フード一部有料)七夕と竹がテーマの一日!
フワフワ、どら焼き、茶の湯、貝殻クラフトもあります。

☆プラネタリウム 一般公開日(無料)

8月14日(木)。先着150名「君津天文同好会」による「夏の星座物語」11:00~投影、15分前迄受付。

☆森のネイチャークラフト

8月14日(木) 13:30-15:30 参加費 500円
きみかめの玄関ホールに、自然素材で作った動物・生き物たちが沢山います。この作者「関口和之さん」が作り方を教えに来てくれます!
申込は7月13日 9:00より電話にて 先着30名

(文: 内田)

近隣団体 紹介

☆「君津天文同好会」

【君津天文同好会とは】

君津天文同好会は、1980年に発足し活動する天文同好会です。現在、関東甲信越と関西エリアにメンバーを有し、男女45人で構成されています。老若男女分け隔てなく楽しく星見や星撮を行っています。千葉県全域で活動しており、現在も会員を随時募集中です!!



【星空観察】

君津天文同会の星空観察では、プラネタリウムで予習し、望遠鏡を使って実際の星空を観察することもできます。肉眼では見ることができない、星の形や色など、宇宙の美しさ、迫力を感じることができます。是非、ご利用ください。

星空観察は、きみかめがオープンして数年経った頃から行っています。他の県立の青少年教育施設や、県民の森でも開催しています。その他の活動も行っていますので、同好会のお知らせブログ <http://ameblo.jp/kimiten-chiba/> をチェックしてみてください!

天体望遠鏡を使った星空観察は、きみかめスタッフでは行っていない、君津天文同好会ならではのアクティビティです。星空をじっくり観たい団体にお勧めです。是非ご利用ください。

(文: 白井)

スタッフ リレー紹介

~きみかめスタッフが他のスタッフを紹介するコーナーです~

●今月ご紹介するスタッフは、きみかめクリーンスタッフの細川さんです。
お客様の視点に立って、細かい所まで行き届いた清掃をしてくれる細川さん。細川さんを一言で表すなら「パワフルな人」です。いつも元気で明るく、周りのみんなにもパワーを与えてくれる人です。
きみかめ歴が15年と所で最も長く、きみかめに関することなら何でもおまかせ。とても頼りにされている存在なのです。
実はキノ「博士」でもあり、仕事の後や休日は山にこもり、沢山の「戦利品」を持って里に下りてきます。採れたての山菜を料理してスタッフに振る舞ってくれることもしばしば。これがまたとっても美味しいのです!
そんな細川さん、山に詳しいこともあり、きみかめ主催のイベントに登場すること



今月の人
「細川美代子」
ほそかわ みよこ

千葉県立君津島山少年自然の家

所報 第68号 2014年7月

292-0526 君津市笹字片倉1661-1

TEL: 0439-39-2628

FAX: 0439-39-2609

E-MAIL: info@kimikame.net

HP: <http://www.kimikame.net>

Facebook: <https://www.facebook.com/kimikamesizen>

Twitter: @kimikamesizen

「きみかめ」は千葉自然学校グループが
県指定管理者として運営しています。

バックナンバーも
ご覧いただけます



細川さんを 紹介した人
鈴木儀忠(きみかめドライバー)

もよくあります。その頼りになる性格から、子どもはもちろんだ大人の方にも大人気!
きみかめにお越しいただいた際には、きみかめと山の経験豊富な細川さんの話しを聞いてみてください。いね。
(インタビュー&文 音田)